

2019 年度新入生宣誓

あたたかな春の訪れとともに、港横浜に吹く海風も心地良く感じられるこの良き日に、私たち新入生一同は、星槎大学、星槎大学大学院の入学式を迎えることができました。

本日は、私たちのためにこのような素晴らしい式を挙げていただき、心より深く御礼申し上げます。

今日のこの日を迎えた私たちは、入学への喜びに満ち溢れ、星槎大学、星槎大学大学院の学生として恥じることはないよう、全国の仲間と共に切磋琢磨しながら学び、成長していきたいと感じています。

近年、我が国でもダイバーシティ、多様性という概念が重要視されています。国籍、生活スタイル、価値観などさまざまなありようのなかで、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を認め合える社会、すなわち共生社会の形成が課題であると考えます。星槎大学、星槎大学大学院では、それらの大きな課題に対応するよう、教育、福祉、環境そして国際関係やスポーツ身体表現と、幅広い分野から共生社会を学ぶことができます。

私は、これまで看護師として日々刻々と変化する医療、看護の現場でさまざまな経験の中からかけがえのない学びを得ました。そのような中で、後進の育成という教育の道に進むにあたり、現職で1年間、看護教員養成での学びの機会を与えていただきました。社会人としての学びは苦難の連続でしたが、目標を達成した喜び、学ぶことのすばらしさを知ることができました。

それから5年後の今年度、大学院生として星槎大学大学院で教育を学ぶ機会を与えていただきました。年齢を重ね、再び学ぶということは、多くの準備や覚悟が必要でしたが、今までの学びや社会経験を更に深めたいという思いで今日を迎えました。

今回、入学のご縁をいただいたからには、学ぶことができるということに感謝しつつ、これまで社会で経験したことを生かし、様々な人たちと共生し、共生社会の進展に貢献できるような研究者、教育者を目指し日々研鑽していきたいと思っております。

そのためには星槎大学の「建学の精神」でもある「社会に必要とされることを創造し、常に新たな道を切り開き、それを成し遂げる」を大切にし、より一層の努力をしてまいりたいと思います。

何とぞ、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりましたが、本日大変ご多忙の中、私たちのためにご出席いただきました教職員はじめ来賓の皆様、保護者の皆様に心よりお礼申し上げます。

本日皆さまから賜りました力強く温かなお言葉を胸に刻み、実りある学生生活を送ることを誓います。

以上を持ちまして私の宣誓の言葉とさせていただきます。

本日はまことにありがとうございました。

星槎大学大学院 教育学研究科

武藤 由紀